

第 7 期 第 5 回 武蔵野市図書館運営委員会 議事要録

日 時 平成 28 年 8 月 1 日 (月) 17 時 30 分開会 19 時 00 閉会
場 所 吉祥寺図書館 2 階集会室
出席者 委員 6 名
船崎委員長、毛利委員長職務代理、桂委員、瀬戸委員、松山委員、
柳田委員

竹内教育部長

事務局 8 名

養田図書館長、奥野（公財）武蔵野生涯学習振興事業団派遣副参
事、前田課長補佐、秋庭係長、川西課長補佐、盛田課長補佐（武
蔵野プレイス）、森本課長補佐、小林主任

傍 聴 なし

- 内 容
- 1 議事
 - (1) 前回議事録の確認について
 - (2) 図書館の運営について
 - 2 その他

【事務局】

1. 開会

定刻となったので開会する。

教育部長よりごあいさつ申し上げる。

【教育部長】

本日は 27 年度事業評価、28 年度目標についてご議論いただくが、吉祥寺図書館の 30 年リニューアルで保全も予定していたが、新しい図書館でどのような事業を行っていくかについて、リニューアル計画で今までの議論の蓄積の上、まとまってきている。そのあたりもご報告させていただくので、ご議論いただきたい。

2. 議事

【事務局】

次第に従い、議事に入りたい。

進行を委員長にお願いする。

【委員長】

議題 1、前回議事録の確認についてを議題とする。
事務局より説明を。

★議題 1 前回議事録の確認について

【図書館長】

資料 1 をお願いしたい。
事前に送付しているが、前回委員会の議論を取りまとめた。
今回承認をいただければ、終了後に公開したい。

【委員長】

本件について、質疑を行う。
何かあったら意見、質問を。

(意見なし)

【委員長】

意見がないようなので、このまま協議内容として公開する。
引き続き次の議題に移る。
事務局より説明を。

★議題 2 ① 平成 27 年度図書館評価について

【図書館長】

資料 2-1、2-2 をお願いしたい。
前回ご議論を頂き、修正・体裁等を整えたのが今回の資料である。
再度ご確認・ご議論いただき、昨年度評価として確定、公表としていきたい。
主に前回からの変更部分についてご説明する。
資料 2-1 1 ページをお願いしたい。

NO 2、安心して利用できる環境の構築について、前回指摘を踏まえ、取組結果欄にアンケートについて行った工夫を記載した。今後実施するアンケートはこの方針のもと実施し、分かり易い情報提供を図っていく

たい。なお、この部分には本日欠席の委員からも表現が分かりにくいという指摘をいただいているので、わかりやすい表現に修正したい。

2 ページをお願いしたい。

NO5、学校図書館の支援について、貸出数の増加を図ることに加え、前回指摘を踏まえた委員会意見として、図書館サポーター連絡会議との連携及び、第四小学校での取り組みの他校への展開について追記した。なお、本日欠席の委員より字句の修正についてご意見をいただいている。

3 ページをお願いしたい。

NO6、システム更新に伴う利便性の向上の取り組みについて、取組事項欄にOPACに関する記載がなかったので、ご指摘を踏まえ操作の習熟度に合わせ、2タイプのOPACを用意した旨を追記した。

NO7、利用者が本に親しめる環境整備、YA向け企画における合同実施について、ご指摘を踏まえ合同企画による事務効率化の観点からも、積極的な実施をすべきとの方向性で記載した。

4 ページをお願いしたい。

NO8レファレンス事例システムの蓄積数について、取組結果に記載すべきとのご意見を踏まえ、入力件数（平成27年度150件）について追記した。

NO9高齢者施設への宅配サービスについて、他自治体の状況を注視するとともに、ニーズ等を勘案し、次期目標設定においてそれを考慮したものとする旨記載した。

重点中長期目標については以上である。

続いて、その他目標に移る。

資料2-2 4 ページをお願いしたい。

NO14視覚障害者への音訳図書貸出や対面朗読サービスの提供について、ご指摘を踏まえ平成27年度の貸出数1,428本を追記した。

主な説明は以上である。

【委員長】

本件について、質疑を行う。
何かあったら、意見、質問を。

【委員長】

NO2のアンケート実施方式は文言修正をするということか。

【図書館長】

そのように考えている。もう少し噛み砕いた表現としたい。

【委員】

レファレンスの入力件数150件については、27年度のみか。

【図書館長】

その通りである。累計で約1,500件である。

【委員】

先ほどのアンケートの記述について「より結果が明確になるよう」との記載は要らない。結果を想定しながらアンケートを取るのはあまりやらない、というかやってはいけないと思うので、その文言を取ってしまってもよい。結果をクロス集計して利用者層によってどのような要望があるかを年齢、男女くらいはやるべきと思う。

【委員】

「明確」を「正確」にしたら良いのではないか。

【委員】

それでよいと思う。

【委員長】

他にないか。

(なし)

本議題については、スケジュールの関係から今回までで議論をまとめる必要がある。今回議論いただいた内容を踏まえ、事務局にて修正案を作成し、決定は委員長預かりとさせていただいてよろしいか。

(異議なし)

それでは、さよう決定する。

引き続き 2②「図書館事業目標（平成 28 年度）」について議題とする。事務局より説明を。

★議題 2② 図書館事業目標（平成 28 年度）について

【図書館長】

資料 3 をお願いしたい。

こちらは、1 月、3 月の委員会でご議論いただいた後期中長期目標をベースとし、平成 28 年度に実施すべき事項について目標案を作成したものである。内容により、定量的に評価が難しい事項もあるが、一定の到達点のめやすについて記載した。

以下、主な内容を説明する。

1 公共施設を利用した図書館機能の充実について、介護付き高齢者住宅等への団体貸出のニーズについての調査・報告について目標設定した。

サービス空白地域における利便性向上については軽々に解決できるものではないが、今後も検討し適宜報告していく。

2 既存施設の整備改修についてこの後進捗を説明するが、吉祥寺図書館リニューアル推進について、今年度中に具体的整備内容を明らかにしていく。また、適宜報告を行う。

集密書架の増設終了後の展開について、今年度より書庫内の配置について詳細を固めていく。また、この状況を踏まえた収集方針について、点検・報告を行っていく。

3 市外登録者の増加によるプレイス等での市民の利用者へのサービスの相対的低下について、今後吉祥寺図書館でもリニューアルに伴い市外利用者の増加が想定されるので、今年度は先進事例の調査等、研究・情報収集に努めていく。

利便性向上としてサインの工夫により障害をもつ利用者への対応を充実させる。また、吉祥寺図書館リニューアルにおいて機器の増設等、ICT 化を進め、利便性を向上する。

8 施設の管理・運営形態について、早期に部署内での検討を開始するとともに、プレイスの状況を参考とし、吉祥寺図書館のビジョンを満たすために相応しい運営形態について検討を進める。また、指定管理施設については効果的な施策展開のため関係課、受託者との連携を深めるとともに図書館運営委員会等にも定期的に報告を行い、外部性の担保を図る。

9 多様な情報資料の蓄積として、電子書籍について引き続き状況を注視していくとともに、情報収集に努め、定期的に報告する。収集方針の点検報告については先に説明した通りである。

10 市民協働について、障害者サービス事業においては新たなボランティア養成講座を実施する。

ブックスタート事業について、他自治体の事例を参考としてボランティア導入に着手するため、募集・研修等を行う。

11 他の図書館施設、行政部局、その他の機関との連携協力について、継続して他機関との協力により利用者に情報提供を行っていくほか、展示実施後も活用できる形での公開を行う。

吉祥寺図書館にリニューアルに併せ、あり方検討で示したビジネス支援の内容、手法等について検討を進め、改修への反映を図る。また、ゾーニングの見直しにより利用者の資料へのアクセスのしやすさに配慮する。

12 学校との連携協力について、これまでの流れを継続するため、貸出記録の蓄積を進め、迅速な対応につなげる。また、学校からの情報を、選書や学校への情報提供に反映させる。

13 貸出・閲覧サービス利便性向上について、吉祥寺図書館改修に合わせてICT化を進め、ICタグを活用した機器の増強を図る点は、先に説明した内容の再掲である。

また、閲覧環境改善のため、蔵書構成、書架の移動増設の必要性を検討する。

14 本に親しめる環境の整備は、これまでとおおむね同内容での実施とする。

15 吉祥寺図書館改修に合わせた新たな情報環境の整備として、リニューアル計画への盛り込みを行う。

17 児童サービスの充実として、ブックスタート事業へのボランティアを導入の準備を行う。

読書の動機づけ指導について 50 周年に到達するため、記念事業実施の準備を行う。

ヤングアダルトについて、取組充実のため関係者会議の実施等、各館の連携を強化する。

19 来館、利用困難者に対する利便性向上について、障害者差別解消法施行を踏まえ、館内サインの整備を行うとともに、吉祥寺図書館改修においても設計等に反映を図る。

学習障害などの利用者のため、LLブックやマルチメディアデイジーの充実・提供の促進を図る。

主な説明は以上である。

また、本日欠席委員からいくつか指摘を頂いている。

6 危機管理体制構築において職員訓練実施について指摘があった。訓練は実施するため、記載をすることとしたい。

職員の外部研修派遣について、割合を示すべきとのご意見を頂いた。必ずしも必要な研修が開催されるか、日程的に参加可能かが不明であることから、目標設定は困難と考えている。

11 吉祥寺図書館ゾーニングの見直しについても記載が分かりにくい旨のご意見を頂いた。2Fに生活関連本の別置を考えてこのような表現としたが、表現は検討したい。

17 児童サービスで、読書の動機づけ指導 50 周年の記念事業の内容についてご質問を頂いた。29 年度で 50 周年を迎え、講演会や記念誌の作成を想定している。28 年度は準備を行う。

説明は以上である。

【委員長】

本件について、質疑を行う。

何かあったら、意見、質問を。

【委員】

何点か確認したい。本目標を評価するための確認である。

3 市民サービスの相対的低下について、成果物のイメージがどのよう

なものか。また形式は、中間報告になるのか、年度報告か、資料配布になるのか。

5 プライバシー保護について、検討の成果物は報告書か。具体的に記載したほうが良い。

8 中央図書館を中核とした在り方検討について年度目標は。また、成果物のイメージは。次の、プレイスの事例も参考とした吉祥寺図書館の在り方について、成果物のイメージは。

11 他の図書館、行政部局等との連携について、イメージが分かりづらい。分かり易く記載を。

16 レフェラルサービスの提供について、成果が見えづらいので、年間実績等の数値があると良い。レファレンスの件数等、年間でどれくらいあったのかを示すと良い。

17 読書の動機づけ指導について、準備を進めるとあるが年度内の予定は。わかる範囲で良いので記載を。

19 館内サインの充実についてイメージを。充実させるということは現状で不都合があるのか。

以上のものについて、評価のために必要なので説明をお願いしたい。

【委員長】

すべてこの場でという訳にはいかないかもしれないが、説明できるものはお願いしたい。

【図書館長】

5 吉祥寺図書館の整備にあたっての電子デバイス導入は、リニューアル工事に合わせ29年度で行う予定なので、30年度には結果が出る。

8 適した運営形態についても、リニューアル計画で施設の管理運営形態を盛り込む。実現は30年度だが、28年度には方向性をリニューアル計画でまとめる。

19 サインについて、現状不都合があるわけではなく、オリパラや障害者差別解消法対応として、誰でも分かり易いものを検討していきたいと考えている。

【委員】

サインについては、まだイメージはないのか。

【図書館長】

ピクトグラムを考えている。言葉ではなく絵で。

【事務局】

補足だが、開館 30 年経つので例えば屋外の表示等についても老朽化で曲がっているとか、老朽化しているものについては手を入れる機会であるので、適切に更新していく。

【委員】

老朽化というのもキーワードだろう。

【委員長】

他のものは次回までに検討してほしい。

10 ブックスタート事業のボランティア導入について、近隣に事例があるか。

【図書館長】

東村山市を視察した。

【事務局】

東村山市以外にも実施しているところはある。

【委員】

2 集密書架配置に関して、利用者には見えないが間接的に待ち時間が減るとというのが利用者へのメリットだが、報告書を確認するのは可能なのか。

【事務局】

内部資料なので公開予定はないが、確認いただくのは可能と思う。

【委員】

7 外部研修とは具体的にどのようなものか。日図協や東京図書館協会、文科省等あるが、具体的にはどのような人向け、どのような内容かが見えると良い。今の時点での方向性が分かると良いが。

【事務局】

例年参加しているのは年次報告でも示しているが、図書館向けの研修である。民間機関のものを探して有料で、というまでではない。

【委員長】

国会図書館や東京都のものである。

【委員】

ブックスタートのボランティアの業務内容は。

【事務局】

0歳児の親子に本の読み聞かせをお勧めするが、1対1なので趣旨の説明、赤ちゃんが起きていれば読み聞かせを実際に行う。

【委員】

8 吉祥寺が指定管理になりそうで、プレイス事例を参考にとあるが、プレイスと吉祥寺は違うと思うので、具体的なイメージとして指定管理にすると吉祥寺は今とどう変わるのか。

【図書館長】

この後の報告でも行うが、指定管理にすることによるメリットとして電子デバイスの導入や、土日祝日の開館時間延長もあるがソフト面ではまちづくりとの連携や生涯学習分野への展開について、プレイスの多機能性を踏まえ、市民活動はスペース的に無理だが、生涯学習系の分野も取り込んでいくことを考えている

【教育部長】

補足すると、市の直営と違い基本的に市の職員でないので、人件費に差がある。吉祥寺は正規職員7名、嘱託職員7名とアルバイトだが、人件費の差が生じるので新しい事業の実施、設備投資へ人とお金を振り向けるメリットを活かせる。

【委員】

説明いただいた内容でプレイスを参考にとというのは理解した。

別件で、14 ミニトピックス展示に吉祥寺がないのはリニューアルに関係してのことか。

【事務局】

吉祥寺には展示するスペースがないので、現状でやっていない。リニューアル後は展示スペースができる。自殺防止など中央でやっている展示を連動してやったこともあるが、数はかなり少ない。

【委員】

16 レフェラルサービスについて中長期目標にも挙げられているが、どのジャンルのものが多いのか。

【事務局】

特別新しいものではないが、その館だけでは対応が出来ないものはもっと大きな図書館に紹介するとか、市民の方の質問を受けているところをご紹介する等を考えている。

【委員】

レファレンスでさえ言葉自体の浸透が難しい上にレフェラルサービスなので一般の方の理解は難しいが、吉祥寺リニューアルがありこの先を考えるとレフェラルのようところが発展し、それが街につながっていくような意識を中長期で検討したらよいし、他の館も含め評価指標をこのタイミングで何かを持てればいいのかと思う。まずはチェックしようというのも良いが、まだこれからなので、頻度の高いものを示すということでも良い。

【図書館長】

この分野に関しては、レファレンスすらまだ浸透しきれていないというご意見があったが、検索がスマホなどで自分で簡単に検索ができるようになり、これから公の図書館が提供すべきは関係機関であるとか、スマホで完結できない特定の問題についての道筋を示すというところだと思う。数としては難しいが。

中央が中心だが、環境分野やごみ、まちづくり、里親など関係課と連携し、関係図書やパンフを置いたりして連携しているし、そのような取り組みは重要と思っている。

【委員】

8 施設管理で、他とは記述が違い外部性を担保というのはすべての項目に当てはまるので、ここだけ書くと変だと思う。透明性を確保する、

程度でも良い。外部性を担保するのは会議の議事録でも計画でもそうなので。何か意図があるのであればよいが。

【事務局】

基本的に委員ご指摘の通りと思う。意図としてはこちらに記載している趣旨のことが今のところ上手く進んでいない印象を持っているため、これらをきちんと整理することでプレイス、吉祥寺もそうだが、中央が主導する図書館政策がイメージ通り進んでいくというところもあるので、関係課もそうだが連携することと効果の有無とはまた違うので、結果を大事にしながら連携というか、外部性の担保という点では他と変わらないので、記載については整えたい。

【委員】

先ほど他の委員も触れたが、将来的に吉祥寺図書館の特性を出してほしい。参考として山形県村山市の図書館が商店街と連携しており、図書館利用カードを持っていくと商店街で割引になるサービスがあり、活性化に役立っている。リニューアルとは関係がないが、将来的なサービスの部分として、プレイスとは違った形のサービスが吉祥寺図書館は展開できると思う。以前意見したが起業セミナーを協働し図書館で開くとか、商店街とのつながりの部分はプレイスにはないが、吉祥寺はあると思うので、先進事例を参考とするとよい。全国的にまちなか図書館が進んできて、店に団体貸出コーナーを置いたりしてまち、図書館の活性化を図っている。喫茶店に行けばその関係の本が置いてあり貸出返却もできるとか、まちなか図書館としてブームになっているので、吉祥寺はそういう立地だと思うので、プレイスと違った事例研究ができるのではないかと期待している。建物の構成とは関係ないが、サービスとして指定管理となったとしても展開できると思うので、サービス面についても吉祥寺図書館らしいものを考えてほしい。

【委員長】

他にないか。

(なし。)

大体意見が出たようなので、事務局にまとめをお願いする。次回の委員会で修正したものについて再度議論し、委員会としての意見を固め、公表の手続きに移ることとしたい。

予定された議事については以上である。引き続き報告事項に移る。
事務局より説明を。

★報告事項 吉祥寺図書館改修事業について

【図書館長】

吉祥寺図書館リニューアル計画の進捗状況について報告する。

1 基本的な考え方だが(1)策定の経緯については記載のとおりである。
(2)リニューアルの概要としては、自動返却機及び予約取り置きコーナーの新設、自動貸出機の増設により、予約、貸出及び返却の各サービス機能を向上させるとともに、こうした一連の基本的業務の省力化により在り方報告において提示した新規業務の実施にあたる。アンケートで要望の高かった蔵書・閲覧席の充実、土日祝日の開館時間の延長、学習室の設置、Wi-fi環境の整備を行い、利便性の向上を図る。

2 改修工事の実施について(1)工事は開館30周年を迎える平成29年度に行う。一定の休館期間を見込むことから、必要な保全工事を実施する。保全工事内容が決定していないので工事期間は予定だが、平成29年9月から平成30年2月まで行い一定の準備期間を経て平成30年度にリニューアルオープンとする。

(2)各フロアの工事内容として、1階は、情報・ポピュラーブックのフロアとし、予約、貸出、返却といった図書館の基本的機能の向上を図るため、自動貸出機を現行の1台から5台に増設、自動返却機の設置、予約取り置きコーナーの整備により、スピーディーなサービス提供、利便性アップとプライバシー保護を図る。市民も含めた吉祥寺の多くの来街者に気軽に立ち寄って楽しんでもらうことを目的として、他では目にすることのないハイパーローカル(※吉祥寺に特化した、地元密着)情報や、テーマ展示を提供するためエントランス正面に展示スペースを設置し、図書管理を容易にするためICタグ読み取り機能も備える。シニア層をはじめとする吉祥寺図書館を多く利用する方には、新聞・雑誌コーナーと付随する閲覧スペースの拡充により、よりくつろいで利用できる場を提供する。

2階は子どもとYA(ヤングアダルト)のフロアとする。幼児向けの絵本コーナーは靴を脱いであがれるようにし、親子トイレへの改修のほか、おむつ替えスペース、授乳スペースの設置、保護者向けの生活関連本の別置等により、小さな子どもと保護者がくつろいで利用できる場を目指す。

現在の集会室を改修し、ヤングアダルト・中高生の学習スペースの提供、スマートフォン等が利用できるWi-fi環境の整備、YA図書を地下から移

設し、YAの学習や居場所としての機能も高める。また2階のフロアにおいて、読書会のような気軽なイベントの開催、ボランティア等のつながり創出に貢献できる場となることを目指すとともに、現在も開催しているこどもまつりや映画会での使用もできる機能を設ける。

地下1階は、吉祥寺図書館の基本設計を継承するフロアとする。書架のかさ上げ、新設、YA図書の2階への移動により、蔵書、閲覧席の充実を図る。サンクンガーデンや、木製の重厚な書架といった、図書館らしい落ち着きのあるオリジナルデザインを尊重したうえで、現代的な機能更新、内装改修を行う。

3 リニューアル後の運営形態について(1)運営時間については土日祝日の閉館時間を現行の午後5時から延長して、平日同様午後8時としたい。

(2)運営主体について「在り方」で提言した「本をきっかけにした新しいつながりづくり」を実現するため、従来の行政の枠にとどまらない効果的、効率的な管理・運営を行い、吉祥寺のまちづくりに安定的かつ長期的に取り組むことができる運営形態が必要である。

そのための運営主体として「在り方」であげられた4点、①市・教育委員会との理念の共有②武蔵野プレイスの運営のノウハウを活かす③武蔵野プレイスの指定管理との一体化による事業の安定的実施、事業水準維持及び向上④人事制度整備により人材育成及び定着を図っている武蔵野生涯学習振興事業団の指定管理によるべきと考える。

(3)その他としましては、平成30年度リニューアルオープンに向けた準備を進めていくが、吉祥寺図書館のサービス継続性等の観点から、当分の間の本市職員の事業団への派遣についても考慮する。

4 予定しているスケジュールは今月、実施設計補正予算要求と平成29年度予算概算要求を行う。続く日程は記載のとおりで平成30年度リニューアルオープンに向けて準備を進めていく。

説明は以上である。

【委員長】

本件について、質疑を行う。

何かあったら、意見、質問を。

【委員】

休館期間について30年を迎えるので休館するのか、改修工事と併せて保全工事も実施をするので休館になるのか、分かりづらい。

【図書館長】

説明のとおり、市では公共施設を60年使う方針で、30年で大規模改修を行う。このため必要な工事をリニューアルに併せて行うということである。

【教育部長】

保全のために中間期に大きな工事を行うことにあわせてリニューアルを行う。

【委員】

分かり易い表現とするよう整理したほうが良い。

運営主体の説明も分かりづらいところがあるので、そちらも整理しシンプルな表現としたほうが良い。

【委員】

基本的な考え方で「本をきっかけとした新たなつながりづくりを目指す」とあるが、2リニューアル概要にはあまり関連するものが見当たらないが。具体的な館内改修についてのものや、アンケートの結果を大事にしてそれが上がっているということ思うが、強調している部分を表現したほうが良いと思う。図面を見るとつながりづくりになるようなものがどのようなスペースになるのか。つながっていくというのをうまく示せるといい。

【図書館長】

つながりという意味では図面でいくと2階の集会室と考えている。稼働が低いのでYAのための学習室と各種イベントブースと考えているが、兼用よいかという件もあるので要検討である。学習室を使いたい子はいつも使いたい、というのがあるので。

【委員】

実際、学習室があれば使いたい、という子は多いのか

【図書館長】

見ている限り、夏休みは増えている。プレイスの例を見ても周知したら増えていくと思うが、学習室を目当てに来た子が来たら、イベントをやっている学習室が使えない、というのもうまくない。

【委員】

両方は難しいというのものもあるし、イベントなどなら奥まったところではなく、開放的なオープンな場所を使えるような取組、というのもあったらよいと思うし、リニューアル感も出る。

基本的な考え方の1つビジネスの方まで、というのは個人的にはあるが、入口のところは展示スペースであるなどというところがあるが、人と人が交流できるようなスペースがあると良い。先ほど出た商店会の方、個人の方などがもっと自由に図書館を訪れてもらえる、というのがよいが限られたスペースだと難しいかもしれないがどうかと思う。1階の展示スペースやICTスペースは新しい取り組みと思うが、ICTスペースのイメージは。

【図書館長】

W i - f i 環境の整備を考えている。ここと、集会室、1階と2階の一部と考えている。

【委員】

なぜ全館にしないのか？

【図書館長】

費用と、一般書架などでの他の方への影響を考えてのものである。

【委員】

W i - f i 環境を使いたいという人のコーナーということか。

それを含めてでいいと思うが、1階入ってのコーナーなので、交流の場として何か生まれる場となるといいのかと思う。在り方で目指すものが生かされる場としてすぐにではなくとも変わっていければと思う。

【委員長】

展示コーナー、予約棚、ICTコーナーになる部分に今ある参考資料は混配することになるのか。

【図書館長】

その通りである。

【委員長】

新聞閲覧席、雑誌閲覧席新設は、今もあるがそれ以上に座席も増えると

いうことか。

【図書館長】

今の CD 視聴コーナーは取っ払って閲覧席を増やすほか、新聞を常設の席に固定とする案も検討している。

【委員】

親子トイレが 2 階に設置されるとあるが、図面で見ると 1 階の多目的トイレがそれのように見えるが。

【図書館長】

親子トイレは図面で言うと北東の角にトイレを新設する。親と子が一室になっていないため、親子トイレというか微妙であるが、設置する

【委員】

普通のトイレのように見えるが。説明のとおりであればよい。

【委員長】

他にないか。

(なし)

3. その他

【委員長】

続いてその他だが、何かあるか。

【事務局】

27 年度評価について事務局で修正案を作成し、委員長と調整させていただいたものを次回ご報告する。今年度目標については本日議論いただいたので、次回修正案をお示しする。吉祥寺についても進捗状況をご報告する。

また、次回の日程についてお諮りしたい。従来通りスパンで行くと次回を 10 月上旬～中旬で会場は中央図書館と考えている。また、今後任期内にプレイスにおいても開催したいと考えている。

【委員長】

各委員のご意見をうけたまわりたい。

次回は10月3日(月)17時半より中央図書館で開催する。

それでは全体を通じて何かご意見・質問等はあるか。

(なし)

【委員長】

その他、何かあるか。

【武蔵野プレイス副館長】

ぎょうせいより発刊されている「ガバナンス」最新号で公共図書館の未来というテーマが組まれており、武蔵野プレイスが掲載されている件で情報提供である。館長のインタビュー、慶応大学の糸賀教授の寄稿もある。

【委員長】

ガバナンスは中央に所蔵があるのか。

【事務局】

中央、プレイスに所蔵がある

中央は3階の所蔵である。

4. 閉会

【事務局】

以上で第5回図書館運営委員会を閉会する。